湖月抄

さ

宛曜文庫

早蕨　宇治四

細　巻名は平等院の詩句にて侍りけるとぞ

ものおもふ身は世の業にあはぬかな　中将

行末長くとなれば人のうらやむ　細

ものおもふ身は世の業にあはぬかな

ものおもふ身は世の業にあはぬかな

ものおもふ身は世の業にあはぬかな

世よりもてるべき
細世ゐるの公者をとりて
紙を敷て爲く世人
どもそれを叶つ
天人行しむるもひる
しりとり三 世尼のう
ぶりわるまをえ人をも
をてへんうり

とあけうてもちゐどきまどられ
よとまるべきさ程ぐりあるまざり
れぐ・ちるれぬとあさまし・わざりのすてよ
盃そもしり文の仏方
つ・年あ〳〵ちりているよ〳〵とうかり海
をゝんはいのりいあるくつゝまり
作り・今ハひと中文の中ちりをゝ而のはしとをゝんやとをゝび
イヒナシ 河歌 薇門毛詩
稱〳〵ちうてさすりるどゆして・ちゝび
五葉ツクレ
けぐ〳〵しかゝりさよいれて・これいちゝハ
もも文の汨 藤
べのゝちゝ作ゝ川お祈ゝくなれり・
細は絶 盃 ちりの日長
くいとあ
をゝるちてそうをゝ
あゝり
ちよゝてあちゝの去をつゝゝびつゝと

ゆ〳〵ち 唯 みまよてゞ年ゝ
ちゝちりなり
ちよゝて 細 古八文の仏間乃表例を
い厳を摘むしいて郷浦ゝ三
ちゝり 細 中表のゝく仏間
梨蛙奇を一ちゝちゝと忘
てゝ・ちゝ・ちゝひつ〳〵
めゝちり三 ちゝちよ
をつゝんゝゝちゝ奇
の感ゞ知ちゝ
ちゝ絶ちりよゝてゝを世ハ
ちゝ 細 白文の仏文
ちりハんをゝとゝちゝと
ちり

盃月
八文の仏度の内ちり表例
ちれざるゝゝ
ゝ壁の奇の絶ちり作 わちゝの去つゝゝと
ゝハ付を忘ゝ
中表八直ちハ中ちゝ人ゝよ
ちれぬちゝ中表の
ちゝ前よちゝ中
ちゝめちゝ
ちゝとあり・ちゝ・ちゝとちよ
ちゝ
ちゝんゝと世ちゝ
ちゝちゝのちゝちゝ
ちゝ
へちゝちゝちれて・ちゝ絶ちりよゝちゝも世
ちれぬちゝちりゝちゝ表の世ふをめゝちゝ
白文ちゝてちゝ
ちゝ人の世ちゝ
ちれちゝ世ちゝ人ちゝ
ちりハゝちゝ
ちゝめゝちゝてゝちゝもゝ
三 世尼ちゝ
ちれハ絶ちゝ
中 ちれ去ハ
ちゝ世絶
よつめちゝ世のちゝちゝびつゝひちゝちゝ世

代表文 細 この表一表
の表ちり・八文文表表
ちゝちゝ・ちれ文絶ち
ちゝちゝちゝちゝちり
盃ちゝ八絶文八文の形

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

盃梅の香も蓋の白ひの
もゝ梅をわて蓋のま
ゝ衍の歌ゝ

[illegible]人の 紅白の[illegible]
字[illegible]を[illegible]
交法を作り[illegible]
[illegible]法は[illegible]
[illegible]中君の[illegible]
[illegible]盃
梅花[illegible]蓋の[illegible]
[illegible]三色八白梅
色に如[illegible]未開の花と[illegible]
[illegible]人は 細[illegible]
[illegible]
[illegible]

世よりあり　細　ありて　君と　実
事なきうとうとり
うきかな
いくさにもつとさのこと
あくこうりん　孟業と妹
君と実ありて　ありて
あしと　髪ひきつく
きりかく　細　髪結
ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
あ　あ　ひ　ゆ
るけ　こ　ん　の
ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ゆ　ゆ　ゆ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

のすりるれで暑の素と書う面白し
とのゝとこゝまゝく 細 そこまでは古ゝとそう法華の書よみゝこゝう半書し歌あゝく
なれう〜くるれどゝりゝうりのえいやけくゝあゝぬちよゆう法とうゝく 時日
白文の書とけうゝゝゝゝのゝ
めゝくいゝよゝゝゝれゝくひゝとゝうゝゝれなう
ゝゝもゝゝそゝるゝどゝうゝげゝよゝつゝきゝゝゝくゝんひ
ゝうよゝゝあゝゝゝゝ法かゝゝゝゝとゝゝゝゝゝゝゝわ
ゝゝゝゝるゝゝゝゝれゝゝゝぬゝゝゝゝゝゝゝ

[illegible] 仰 [illegible]帳 [illegible]

[illegible] 細 [illegible]

[illegible] 孟 [illegible]

[illegible] 仰 [illegible]

[illegible]

[illegible] 孟 [illegible]

[illegible] 細 [illegible]

[illegible] 細 [illegible]

[illegible] 孟 [illegible]

[illegible] 細 [illegible]

[illegible] 細 [illegible]

[illegible] 細

[illegible]

[illegible]

[illegible]

細川殿なる本所氏一義よりはじめ富士のすそ野
又の義とうりのおもかげを結ぶらんよりはじめ
ちくさのこゝろをかたらひてこゝろのうちをあ
きらめてこゝろのうちをあきらめてこゝろのう
ちをあきらめてこゝろのうちをあきらめてこゝ
ろのうちをあきらめてこゝろのうちをあきらめ
てこゝろのうちをあきらめ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

いとつよけえて
細金のおりとうるわり
に水くさのことまでの
池のねねるをくいとま
くるゆゆしてをとろう
をえてのせをを　何水うこの
ろうあひとりのうくろ
らうをえての世ともう
らをつるの
つこもつるよ　細ろうの
ををとうでをうろ
くく　仲つをくいく
んくいふをくいく弁ごこ
くくをひろくくをを
をを弁ろいるをを

弁河

いをつをををてのびいるいのられてくくを
いををををををくくくくくをををををををを
らをくくくくく

割戒よりひいられて彼岸よりうるべしと 花波羅蜜の梵語を離下
て彼岸とうつる心 仰 弁が身を投てとえとのさめて彼岸よりこ
ゑのよとをねりてそうろうさしもあるまじき入あるべしてあいなく
よもぎこさんそしのたしあの縁諸よ彼をとりの句をとりて寄ゆこや
をうてひるくるひるうさ 細諸事ひるくそうべうそうこ 盂日 仰 畢竟皆空の理
とうひとうてせ弁ハこ義ぎがうもうこと教どくしさまで大志のまよもうこと
分とうるん 細人とうく教化しうんたワ分 業 分をうげひ流の河よりうこてもあ
ハなぐこあうこうさとく 仰 ゆうの奇こ前れ弁
が奇こうくゆ歌を
こ教ろ。見こ心世の後
を教志こさこうこ
とうくこひ入こうを
三 分をうけてもの縁
ハうぬ物れいんを志
る縁心ハ果しこと
人のとうぎ 細白文乃
所とうるこ 仰 中志ま
ん心とうこてやみこひる
さんとの奇をのうるこ
ゆとりの句のるさ流
細中志の流れて流し
三 業のこ流を弁の中志人

させでよわとれしりをでいうすんせる。 細無
をうこをとうるこうこありうんとこ
終無始ゆ
てうるこ
ぐうれて。日を言ん
びひをんも。人のとぐひうこやとあいうれ
べうりうぬ。世りしのこさ人ゆるこ流とうこ
うこ。弁 血皆人上階の勇を二ぐうれど弁弁ハこもうる流やうこと
ひうり。これ人いんゆこうこう熟をこてりのぬ

ハ人こうる 細 神の宿ハ業を
教長今。引ぐ神すう海志の
こうをとうこうに神の
南ようをこ川流ゆ宿長
ゆこうこうこ永徳元
年十二月八日内侍所御膳
仰 弁ゆ奇人この上流の
用をよ衣をこうゆひ
をとすうふもうこうこと
こ尼を海ようこうせこう
こうこう 細中志の奇こ
伊ゆ流こう衣よ奇
神てひをひも彼ようれ
ぬ日をうこ 嘆ハ
やこ弁の尼ゆ神ようもと
らを用こうここう御
ひうこまうや 仰 あまの
衣ようこうれやとハ紙
歌をハ弁の尼の船へり
こうこうりとこ白文の法
ムの事も教をうこうこ

ひいをうまこ
ぐけくうこ
ぐ弁
ひうこ
ゆ独藻法
こうこうわ
ゆれば
中
こ海こ
波まめうこ
歌こ
ありぐこう
ぐこ法へ海ん
こうこ
ぐ弁ゆ対面
ぬ対面もあ
ろゆうくて
こうこゆ

おいゆうめうこうこ
ひこ
細弁こ
ふよいよくやつして
これめう神のうこよひ
ゆれこうこあまうれどうまこ
こ
あまの衣ようこうれやうここう
細中君弁ようの法句こ三 白文のをを
ぐ神世ようすをつうこ
称ようこ
ぐこうこ
ゆれいこ
ゆこ
ぐこ
ぐこ
ゆれこ
ゆこ
ぐこ
ゆこ
ぐこ
ゆこ
ぐ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

師今のあやひの法師のあ
さまといふんとくびり
とりくさ田の花を
幾ばくもうつさきと八
やうに中宮の事よ出給
ひても旬宮の孫をうま
ばうぐあくんとぐ宮法よ
てハを張のうとけもあ
るこぞれそそひーる
ハ和の歌ともあくずと

二条院へ

おんてつきさうこりらぬさ風よ為ん
くやくらくらすら扇づくりのこりぐよ
きくくのくくー
明いるる中にひさられく宮いつーくと
まちかつーまれいれ車のりくよこ
づくくうせまてかつまり為れこり
らひるどおくぐさうぐうくく女房のつ
が必法ぬひまぐれんとぐめこせ為まるか
どるくくえてていくわくまはーげまり
いくぐくりのくくみりとくまくるれあり
さ海のようつくくぐまりまへ為は
るけまくぐまくくくるみりと世の
人もくるふくとまくさくり中納言

二条院へ

こあくくるる日ーくに
暁三条宮を作り出を
ぬくく
武蔵ちくさくぐるれげ
くるも　お二条院三条院
行近くくく宮法くりる
くりまくくる女と業のゆ
うくくて歌をくまで
三条の宮よかりくーく

三条院へ

三条の宮の宮くくれー
くる物くく梅ーくく

三条の宮よこのたよ日のはくくよわくり
為くんくくて　三条宮のたよ日のはくくよわくり
くる為。　二条院へ　このぐくハ日ぐくよおくくーけく
歌のくく　中宮の出家の
もくくんくくて歌をくるゆまぐくかりくるに
なくくるれ前れんぐくくまりており
為ーくくく

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

中葉と末葉とは
わづらはしき
世とぞ思ひ
なりける
ものかな
ものかな
ものかな